開かれた議会、市民により身近な議会　～意見交換会を実施～

総務委員会と自治会連合会との意見交換会

１月14日に、自治会活動の現状と課題などの報告を受け、自治会が目指す在り方について意見交換会を実施しました。

【出席者の主な意見】

・自治会の未加入世帯が増加しており、特にアパートに住む住民の加入率が低いため、加入促進に向けた取り組みが必要である。
・自治会活動や防災面など、女性目線の意見も必要であるため、多くの女性が役員として参画するなど、自治会も男女共同参画を進める必要がある。
・コロナ禍もあり自治会のＩＣＴ化を進めて事業を見直すなど、自治会長の負担軽減や役員のなり手につながる取り組みが必要である。
・各地区のまちづくり協議会に参画し、コミュニティセンターを拠点としたまちづくりをさらに進める必要がある。

建設経済委員会と若手農業者との意見交換会

２月17日に、若手農業者から、抱負や課題、農業の現状などの報告を受け、袋井市の農業の現状について意見交換会を実施しました。

【出席者の主な意見】

・新規就農時や事業所の合併、さらに環境意識の高まりから施設整備費用の調達など、困ったときに行政としてサポートできる体制を整えてほしい。
・稼ぐ農業として、付加価値をつけた農産物の生産、販路の拡大が必要である。
・農業のＩＣＴ化を導入するには、機器の更新費用がかかる。また、袋井の水稲（水田）の規模ではハードルが高く、なかなか活用できない状況にある。
・先行しての設備投資が必要であるため、行政の支援が必要である。
・農業を取り巻く環境が大きく変化し、持続可能な農業基盤の確立に行政の支援が不可欠である。

※上記２委員会の意見交換のほか、民生文教委員会においても令和３年11月18日に小中学校教職員との意見交換会を実施しています。　（詳しくは、袋井市議会だより№82号をご覧ください）

地元高校生との意見交換会

昨年12月22日の袋井特別支援学校高等部、袋井商業高校に続き、本年２月17日に袋井高校で２年生との意見交換会を実施しました。

同校では、２年生が本年度の総合的な探求の時間においてフィールドワークや個別調査などを通じ、地域の魅力や課題について提言をまとめ、今回の意見交換会での発表に備えてきました。当日は、テーマごとに９教室に分かれて、さまざまな課題について高校生の視点から提言しました。議員は提言に対して助言するとともに、市の施策や事例の紹介などを行いました。

高校生が提言した内容を一部紹介します。

・温室効果ガス削減に向けてリサイクルを徹底するため、３Ｒ＋１Ｒでごみを減量する。（マイバッグを使う。食品を食べ切る・使い切る。紙・布類を分別収集する。不要なものを買わない・もらわない。）
・病児・病後児保育は、土曜日や日曜日、祝日が休みとなる。支援を充実させるため、土曜日や日曜日でも利用できるようにし、利用時間も延長させる。
・公共交通機関において、バスの本数やバス停が少ないため、双方を増やすとともに、バスに乗るメリットがあるようなサービスなどを行い、利用者を増やすための取り組みを行う。

若者たちの想いや柔軟な発想を今後の施策に反映できるよう、今回の意見なども参考に議会活動に努めてまいります。